

積丹の初夏を彩る味覚祭り

第7回

積丹ソーラン味覚祭り

6月24日、「第7回積丹ソーラン味覚祭り」が積丹町 美国漁港広場で開催されました。今年も、管内外から約2.6万人が訪れて人出で、大いに賑わい、多くの方が積丹産の魚介類をたっぷり味わいました。

積丹町はここ→





**写真のとおり、人、人で、とにかく大盛況でした。約
2.6万人弱の来場があったのもうなずけます。**



さすが味覚の祭ということで、出店では積丹産の魚介が目押し！
店先では「かに汁あがったよ～」と威勢のいい声もあがり賑やか
でした。また、積丹産の魚介の物販や積丹のモノを使った料理も
提供されていました。





六月の積丹はなんと言ってもウニ！

うにうに動いているウニをそのままカチ割って
出してくれるところが、何とも豪快であり正に
新鮮そのもの！！

積丹を代表する味覚を美味しくいただきました！



焼いた魚介以外にも、前浜であがった新鮮な、たこ・エビなどの刺身も並んでいました



いかめし。さすが浜らしく銅いっぱいドン！作られていました。

積丹町と姉妹都市提携を結んでいる高知県香美市の伝統産業である打ち刃物や、特産品の柚子関連商品、鯉のタタキなどを販売し、積丹町との交流を深めていました。



特設ステージでは多彩な催し物が行われていました。写真は地元のバンド演奏の様子。



新鮮な魚介を生かした浜カレー。ひときは大きな看板・素敵な浴衣の看板娘も功を奏し大いに繁盛しているようでした。





お祭会場である美国漁港は、水中展望船の乗り場にもなっており、お祭とともに積丹ブルーを見ようと乗船客の方々に待合は賑わっていました。



・「第7回積丹ソーラン味覚まつり」に参加して～あとがき～



お祭りのタイトルにもあるとおり、文字通り『味覚』満載の祭りです。今回はご紹介しきれない積丹の味覚が沢山ありましたが、積丹の海の味覚が存分に味わえるお祭りです。お出かけの際は、是非、おなかをすかせて行くのがよいかと思います。

また、積丹半島は、積丹岬・神威岬・黄金岬などの景勝地を有する北海道で唯一の海中公園に指定されています。エリア内では多くの入江、奇岩があり、美しい自然が織りなす「積丹ブルー」と称される透明度の高い積丹の海の中を、水中展望船でご覧いただくことができ、その展望船乗り場が前項で紹介のとおり今回のお祭会場であります美国漁港にあります。

来年のお祭りで積丹の味覚を大いに味わうことはもちろん、水中を散歩をしているかのようにご覧いただける水中展望船で『積丹ブルー』を満喫しに、皆さんも、是非、積丹へ行って見てはいかがでしょうか？